

Arche21

鹿児島県立沖永良部高等学校 【進路通信】

君が転んでしまったことに興味はない。

ここから、どう立ち上がるかに興味があるのだ

エイブラハム・リンカーン（第16代アメリカ合衆国大統領）

先輩達からの応援メッセージ

「受験勉強」…それは長くて孤独な戦いです。ときには投げ出したくなることもあるかもしれません。しかし、諦めずに頑張れば、成し遂げた自分に対する自信と喜びが待っています。受験勉強の真っ最中の人、まだ何もしていない人、どちらの人にも、努力して合格を勝ち取った先輩達の言葉はきっと響くはずです。

少し前から、「やる気スイッチ」という言葉を耳にするようになりました。小中学生向けのCMの影響でしょう。「キミのやる気スイッチを見つけて押してあげる」というような内容だったと思います。でも、勘違いをしてはいけません。（もし、本当に「やる気スイッチ」があるのだと仮定して）そのスイッチは自分で探すものだし、自分で押すものです。誰かをあてにするのは間違いです。この先輩方のメッセージが「やる気スイッチ」を探すきっかけや、押すきっかけになることを期待します。



★尾道市立大学 経済情報/経済情報

商業科枠特別推薦入試 合格☆

私は商業科に在籍しており、商業科の先生方のすすめもあって、この大学を商業科枠で受験することを決めました。

私の受験科目は小論文と面接でした。全くできない状態からのスタートだったため、とにかく必死でした。

小論文を書き始めた頃は、4時間以上かかっていたし、面接の練習では緊張のためうまく言葉も出せませんでした。根気強く指導してくださった先生方のおかげで、練習を重ねるうちに小論文では自分の考えをうまくまとめながら時間内に書き上げることができるようになり、面接でも自信を持って臨めるようになりました。ちなみに、小論文の練習はノート3冊分書きました。

受験を終えてみて、目標に向かって努力することはとても大事だと改めて実感しました。これから受験をする皆さんにも、自分なりの目標を見つけ、そこに向かって努力して欲しいと思います。

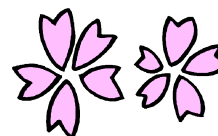
★下関市立大学 経済/経済

推薦入試（公募型）合格☆

私が受験した大学の試験内容は「小論文」でした。合格にむけて7月から文章（日本の論点100）を読み、要約をする練習を毎日しました。

＜私の場合の指導の流れ＞

- 1 指導の先生に指定された文章（課題文）を読む
↓
- 2 家で原稿用紙に書いてくる
↓
- 3 朝イチ、登校したらすぐ提出
↓
- 4 昼休みに先生のところへ行き、指導を受ける
（場合によっては書き直し）
↓
- 5 次の課題をもらう
（※この繰り返し。約100本書いた）



小論文を書く上で大事なことは、知識の豊富さと、相手に伝える表現力だと思います。私は新聞やニュースを見ることで様々なことを知り、要約を何十回としていくうちに表現力を身に付けることができたと思います。

推薦入試は、学校の授業や宿題と平行して小論文や面接の練習をするため決して楽ではありません。しかし「絶対に合格する」という強い意志があれば、苦しさを乗り越えることができます。皆さんも頑張ってください。

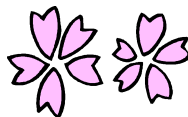
☆琉球大学 観光産業/観光科学

一般推薦入試 合格☆

私は、はじめ北九州市立大学の地域創生学部を志望していました。3年生の初め頃は全然進路が決まらず、なんとなく専門学校を考えていました。そんな中で先生から色々話を聞き、「経済分野が向いている」と言われた時には最初、びっくりしました。しかし、それをきっかけに再度、自分の進路を考えてみようと思いました。

「エラブの活性化をしたい」と考えたとき、北九州市立大学に進みたいと思い、9月下旬のAO入試にチャレンジすることを決めました。夏休みは補習のない日も休日も毎日登校し、志望理由を考え、…でも、私はなかなか書けませんでした。先生方のおかげで形にすることができ、AO入試を受けたのですが、

残念な結果に終わりました。



でも、私はすぐに切り替えて次の目標であった、この琉球大学の観光科学科の推薦入試に向けて、勉強を始めました。このきっかけは自分で「おきえらぶ観光連盟」に行って直接話を聞いたことで、強く興味を持ったからです。「エラブの活性化のための、観光」にとっても魅力を感じ、同じ文化圏にある沖縄で観光についてもっと学びたいと思いました。

推薦入試の課題は、英文での小論文だったので、とても大変でした。面接練習でも、なかなか思い通りに伝えることができなくて泣くこともありました。英語の指導だけでなく、志望理由書の作成など、休日を返上して遅くまで練習してくださった先生といつも支えてくれた友人にとっても感謝しています。

AO入試・推薦入試は一般入試と違い、時期が早くて本当に忙しくて、センター試験の勉強やテストの勉強との両立は本当に苦しかった…けど、合格したときの喜びはそれまでの苦労や努力を全て報ってくれて、次のステップに向けて強く背中を押してくれました。

合格して「はい、終わり〜！」ではなくて、今は大学に入って勉強についていけるように、英検の取得に向けて頑張っていくつもりです。

自分を信じて、心折れずに頑張れ！後輩！

☆神奈川大学 経済/経済

推薦入試 合格☆

私は、9月から小論文練習を始めました。一次が書類審査、二次が小論文、ディスカッションでした。今起こっている世界的問題や地域の課題など様々なことを知らなければならぬため、新聞(全国紙)は毎日読み、自分の意見を考えるようにしました。

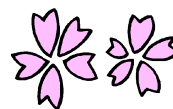
神奈川大学を受験することを決めてから、情報収集をし、同じ大学を合格した先輩から「指導は絶対！先生」と言われたので、直接お願いにいきました。

小論文は80本程度はこなし、毎日指導していただきました。時には、自分のことなのに中途半端な気持ちで指導を受け、怒鳴られることもありました。先生はそれでも最後まで私と一緒に遅くまで学校に残り、クローズアップ現代を見て意見交換をしたり、同じ題材で先生も文章を書いてくださったりました。

ディスカッションの練習では、まわりの友人に声をかけ、学校に遅くまで残ってもらい、また土日にも練習につきあってもらいました。

これだけ練習したにも関わらず、本番では手応えがあまりなく、「きっと落ちるな」と思いながら帰ってきました。次の試験に備えて問題集を購入し、すぐに気持ちを切り替えて勉強を始めたときの合格発表だったので、とにかく嬉しかったです。

やはり、受験を通して感じたのが「準備の大切さ」でした。そして指導してくださった先生と協力してくれた仲間、支えてくれた人たちへの感謝の気持ちでした。人間としても成長できたのかなあと思います。



自分を高めるために、

よりよい将来を生きるために、

どの進路を選ぶべきか？

1つ高いステージに身を置くことで

きっと、自分の可能性は広がる。